



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月10日

上場会社名 富士精工株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6142 URL <http://www.c-max.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 龍城
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 近藤 規央 TEL 0565-53-6611
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	15,783	△6.3	964	△11.6	1,146	△15.3	701	△79.3
2019年2月期第3四半期	16,838	10.8	1,090	165.5	1,352	111.3	3,393	997.3

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 632百万円(△81.5%) 2019年2月期第3四半期 3,412百万円(310.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	191.16	—
2019年2月期第3四半期	919.61	—

(注) 当社は、2018年9月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第3四半期	26,208	20,737	70.8	5,059.50
2019年2月期	25,787	20,297	70.3	4,942.12

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 18,557百万円 2019年2月期 18,130百万円

(注) 当社は、2018年9月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	5.00	—	25.00	—
2020年2月期	—	25.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2019年2月期の第2四半期末配当金の内訳 普通配当3円00銭 創立60周年記念配当2円00銭

(注3) 当社は、2018年9月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年2月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年2月期の1株当たり年間配当金は50円となります。

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,790	△3.1	970	△28.0	1,320	△22.5	870	△75.6	237.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年2月期3Q	4,306,778株	2019年2月期	4,306,778株
2020年2月期3Q	638,860株	2019年2月期	638,115株
2020年2月期3Q	3,668,202株	2019年2月期3Q	3,690,489株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)当社は、2018年9月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中の貿易摩擦などにより先行きの不透明さを増しており、中国子会社をはじめとする当社グループの受注環境に影響を及ぼしております。

わが国経済におきましても、通商問題の動向や海外経済の不確実性による影響などが懸念され、景気の下振れリスクに注意が必要な状態が継続しております。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、不安定な海外情勢を背景に、企業業績は下降局面をたどっているものの、電動化の推進、自動運転や安全装備などの技術開発、異業種との協業強化など、大きな変化への対応が進んでいる状況にあります。

このような状況のもと、当社は、培ってきた工具開発に限ることなく、顧客のニーズに応じた技術を提供できるよう、治具開発や部品開発も積極的に行ってまいりました。また、部門別採算制度の確立を通じて収益性の向上に向けた取り組みを開始し、従業員全員が売上最大、経費最小を意識した活動を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は15,783百万円（前年同四半期比6.3%減）、営業利益は964百万円（前年同四半期比11.6%減）、経常利益は1,146百万円（前年同四半期比15.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は701百万円（前年同四半期比79.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、海外経済の減速を背景に、工具、治具等の売上が減少したことなどにより、売上高は8,279百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

また、外注加工費などの経費が増加したことなどにより、セグメント利益は574百万円（前年同四半期比9.2%減）となりました。

②アジア

当地域におきましては、貿易摩擦などの影響を受け、中国子会社で減収となり、売上高は4,374百万円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

また、材料費高騰などにより売上原価が増加しており、セグメント利益は199百万円（前年同四半期比49.0%減）となりました。

③北米・中米

当地域におきましては、自動車産業界の積極的な設備投資が続いており、売上高は1,738百万円（前年同四半期比15.1%増）となりました。

また、生産性が向上したことにより材料費や労務費などの売上原価抑制につながり、セグメント利益は98百万円（前年同四半期は8百万円のセグメント損失）となりました。

④オセアニア

当地域におきましては、断熱材の需要が堅調に推移し、現地通貨ベースでは増収となったものの、為替の影響により、売上高は937百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。

また、経費などが増加したものの、材料費及び労務費が減少したことなどにより、セグメント利益は40百万円（前年同四半期比64.2%増）となりました。

⑤その他

当地域におきましては、売上高は453百万円（前年同四半期比31.4%増）、セグメント利益は44百万円（前年同四半期比99.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は26,208百万円となり、前連結会計年度末と比較して、420百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が585百万円、受取手形及び売掛金が312百万円、電子記録債権が250百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が1,219百万円増加したことなどによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は5,470百万円となり、前連結会計年度末と比較して、19百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が198百万円、未払法人税等が140百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は20,737百万円となり、前連結会計年度末と比較して、440百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が517百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は70.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年4月11日の「2019年2月期 決算短信」で公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,074,156	7,293,570
受取手形及び売掛金	3,994,841	3,681,945
電子記録債権	1,439,522	1,188,784
有価証券	535,389	671,513
商品及び製品	1,633,466	1,760,214
仕掛品	754,787	672,972
原材料及び貯蔵品	492,839	440,974
その他	254,304	333,247
貸倒引当金	△71,075	△65,500
流動資産合計	15,108,231	15,977,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,131,675	2,005,772
機械装置及び運搬具(純額)	3,824,014	4,034,037
土地	1,367,662	1,353,411
建設仮勘定	24,931	94,094
その他(純額)	174,132	192,527
有形固定資産合計	7,522,417	7,679,843
無形固定資産	213,640	222,812
投資その他の資産		
投資有価証券	2,275,095	1,689,257
長期貸付金	4,301	8,073
繰延税金資産	506,963	465,425
その他	188,465	196,687
貸倒引当金	△31,758	△31,758
投資その他の資産合計	2,943,069	2,327,686
固定資産合計	10,679,126	10,230,342
資産合計	25,787,358	26,208,065

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,701,232	1,502,240
短期借入金	379,258	583,378
1年内返済予定の長期借入金	153,192	99,939
未払法人税等	281,985	141,791
賞与引当金	162,498	348,720
役員賞与引当金	16,910	—
その他	1,357,121	1,528,154
流動負債合計	4,052,198	4,204,223
固定負債		
長期借入金	148,433	91,695
繰延税金負債	4,028	5,308
退職給付に係る負債	1,110,211	1,013,113
その他	174,721	155,837
固定負債合計	1,437,394	1,265,955
負債合計	5,489,593	5,470,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,162,607	4,162,607
利益剰余金	12,950,761	13,468,541
自己株式	△916,749	△918,014
株主資本合計	19,078,636	19,595,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	394,109	490,936
為替換算調整勘定	△250,961	△542,006
退職給付に係る調整累計額	△1,090,803	△986,240
その他の包括利益累計額合計	△947,654	△1,037,310
非支配株主持分	2,166,783	2,180,047
純資産合計	20,297,765	20,737,886
負債純資産合計	25,787,358	26,208,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	16,838,532	15,783,367
売上原価	12,790,120	12,000,177
売上総利益	4,048,412	3,783,189
販売費及び一般管理費	2,957,744	2,818,604
営業利益	1,090,667	964,585
営業外収益		
受取利息	42,814	42,233
受取配当金	22,589	24,544
持分法による投資利益	99,434	87,494
為替差益	5,912	—
その他	103,451	94,780
営業外収益合計	274,201	249,051
営業外費用		
支払利息	8,848	9,156
売上割引	472	1,130
為替差損	—	56,459
その他	2,609	602
営業外費用合計	11,931	67,349
経常利益	1,352,937	1,146,288
特別利益		
固定資産売却益	1,369	22,101
新株予約権戻入益	12,040	—
厚生年金基金代行返上益	2,891,287	28,291
特別利益合計	2,904,697	50,393
特別損失		
固定資産除売却損	33,209	5,480
災害による損失	2,165	—
その他	—	116
特別損失合計	35,375	5,596
税金等調整前四半期純利益	4,222,259	1,191,084
法人税、住民税及び事業税	473,929	429,835
法人税等調整額	253,328	5,873
法人税等合計	727,257	435,708
四半期純利益	3,495,001	755,375
非支配株主に帰属する四半期純利益	101,188	54,179
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,393,813	701,195

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	3,495,001	755,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△107,847	96,826
為替換算調整勘定	△330,846	△326,236
退職給付に係る調整額	368,747	105,588
持分法適用会社に対する持分相当額	△12,503	1,224
その他の包括利益合計	△82,450	△122,597
四半期包括利益	3,412,551	632,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,369,368	611,539
非支配株主に係る四半期包括利益	43,182	21,238

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,993,413	4,992,038	1,510,886	997,133	16,493,471	345,061	16,838,532	—	16,838,532
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,639,248	557,870	7,165	1,590	2,205,875	16,026	2,221,901	△2,221,901	—
計	10,632,662	5,549,909	1,518,051	998,723	18,699,346	361,087	19,060,434	△2,221,901	16,838,532
セグメント利益又 は損失(△)	632,377	390,468	△8,735	24,844	1,038,954	22,156	1,061,110	29,557	1,090,667

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,279,247	4,374,535	1,738,384	937,660	15,329,828	453,538	15,783,367	—	15,783,367
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,753,927	589,088	3,369	—	2,346,385	14,960	2,361,346	△2,361,346	—
計	10,033,175	4,963,623	1,741,754	937,660	17,676,214	468,499	18,144,713	△2,361,346	15,783,367
セグメント利益	574,176	199,119	98,119	40,805	912,220	44,123	956,344	8,240	964,585

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。